

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

平成23年4月8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200422		
法人名	聖北会 有限会社 敬七商事		
事業所名	グループホーム すずらんの里	ユニット名	1丁目うぐいす
所在地	〒319-0204 茨城県笠間市土師1283-252		
自己評価作成日	平成22年8月22日	評価結果 市町村受理日	平成23年4月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年10月20日	評価確定日	平成23年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・市内に協力病院があり、症状の変化などの際受診したり、助言を受けられるなど連携の強みがあります。・自然環境に恵まれしきの変化に富み、健康面に良い効果が現れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者は利用者一人ひとりの残存能力を活かして、自分でできることは自分の力ですということを見守りながら支援し、利用者の介護度が重くならないよう取り組んでいる。</p> <p>職員は利用者全員に対して、なるべくおむつを使用せずにトイレで排泄ができるよう支援するとともに、緑内障の利用者がトイレで自立した排泄ができるように工夫をするなど、排泄の自立に向けた支援に努めている。</p> <p>献立は利用者の希望を取り入れてユニット毎に作るのと同時に、オープンキッチンのため、食事作りの様子を見たり料理の匂いを感じることができ、利用者の食欲の増進につながっている。</p> <p>入浴は午前と午後に行い、利用者の希望により毎日入浴できるように支援するなど、利用者が気持ち良く穏やかに過ごせるよう配慮している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所の見やすい場所に掲示され申し送りや、ミーティングなどのときに目的と意義を再確認しています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念をつくり、玄関や各ユニットに掲示するとともに、管理者と職員は会議等で話し合い共有しながら、理念の実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	消防訓練に参加してもらったり、地域の店舗で日用品を購入するなどしています。	利用者はスーパーへの外出時に地域住民と挨拶を交わすなど、地域の一員として日常的に交流しているほか、運営母体関連施設の夏祭りや秋祭りに参加して地域住民と一緒に楽しんでいる。 地元の職員が多く、食材は地元の米屋や商店から購入するなど、地域の情報が得られやすい環境を築いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設での行事に参加してもらうなど徐々に広がっていると思います。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	代表者が参加し情報交換するなどしてサービス向上に努めています。	前回の外部評価結果を受けて、運営推進会議に民生委員や近隣住民の参加を得ている。 運営推進会議では事業所の行事やサービス状況の報告を行うとともに、現状課題や外部評価結果への具体的な取り組みの説明をし、出席者の要望や質問、助言を得ながらそこでの意見等をサービスの質の向上に活かしているが、2ヶ月に1回開催したり、毎回、市担当者の参加を得るまでには至っていない。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することが望まれる。 市も市民福祉向上のために会議の出席に協力してくれることを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	代表者が担当され情報交換されています。	管理者は相談ごとなど機会あるごとに市の担当窓口へ出向いたり電話等で連絡を取っている。 市担当者からは、運営推進会議の委員の選出や開催場所などについてのアドバイスを受けているが、協力関係を築くまでには至っていない。	外部評価をきっかけに市担当者の意見をもらうなど協力関係を築くよう取り組むことを期待する。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的なミーティングを利用して資料を配布するなどして取り組んでいます。	管理者は定期的開催するミーティング時に「身体拘束ゼロへの手引」等を利用して勉強会を行うとともに、職員は利用者の安全を確保しつつ、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事例等の資料を配布して周知徹底されています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティング時に、パンフレットなどを配布して徐々に活用できるように支援されています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	代表者が契約時に十分に時間をかけて取り組んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	代表者が窓口になり情報の収集と意見の交換にあたっています。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に掲示している。 利用者や家族等が運営推進会議に参加するとともに、職員は家族等の面会時などに要望や意見を聴くよう努めている。 利用者や家族等から出た意見や要望は管理者や職員で話し合いその都度対応しているが、記録して全職員で共有するまでには至っていない。	利用者や家族等から出た意見や要望は、記録して全職員で共有することが望まれる。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者が適時行っており、十分に活かされています。	管理者は定期的に職員会議を開催し、職員から意見や要望を聞く機会を設けるとともに、日頃から意見等を言い易い雰囲気づくりを心がけている。 職員から出た意見等は管理者会議で検討するとともに、施設長に報告し運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者の監督により、適切に行われています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者が技量に応じて取り組み職員」の持ち味を活かしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今のところ行われていません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	代表者が契約時に十分に時間をかけて不安の解消に取り組まれています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	代表者が契約し及び入居間もない間は十分に時間をかけて、より良い関係作り取り組んでいます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	代表者が医療機関や入居前に利用していたサービス機関と情報交換しながら対応しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	目線を同じにして対等な立場で考え、より良い方向に行くようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	代表者が十分に時間をかけて同じ立場で検討して、相互に協力し合う関係作りをしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話連絡や面会の依頼など関係作りに取り組んでいます。	利用者の知人や職場時代の後輩が来訪している。 職員は利用者の希望を受け、友人などに電話をかけて連絡を取ったり、行きつけの美容室の利用を支援し、利用者の馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	館内の散歩など気の合う入居者が話し合い相互に行ったりきたりしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今のところ行われていません。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の都合にならないように、本人の意向を尊重するようにしています。	職員は利用者のこれまでの生活歴を参考にするとともに家族等から情報を得て、利用者一人ひとりの思いの把握に努めている。 思いを伝えられない利用者には、寄り添いながら思いや希望にそった生活ができるよう取り組んでいる。 利用者の希望を受け新聞購読を支援するなど、職員は利用者の意向にそった生活ができるよう支援している。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族などに、入居前の様子や趣味などを伺い、生活に生かすようにしています。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子や申し送りなどを利用して生活の様子の把握に努めています。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の申し送りや、病院受診など変化が生じたときに対応するようにしています。	職員は日誌で利用者一人ひとりの情報を共有するとともに利用者や家族等の意見や要望を聴き、意向にそった介護計画になるよう取り組んでいる。 前回の外部評価結果を受けて、介護計画が現状に即したものとなるよう見直しているが、全職員で共有するまでには至っていない。	介護計画に関する書類を整備するとともに、全職員で介護計画を共有することが望まれる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送りや、ミーティングなど情報提供などがあつたときは対応するようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問の看護師や協力病院などと連携を取りながら対応するようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接の支援センターや特養ホーム、協力病院等と連携をとりながら、生活が支援されています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を確認し、適切な医療が受けられるように支援しています。	職員は利用者や家族等が希望するかかりつけ医の受診を支援するとともに、受診結果を共有しながら適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居時の症状等に応じて、家族等と相談の上、入院加療にあたり退院後も安心して施設で過ごせるように支援が受けられるようになっています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>代表者が契約時に十分に時間をかけて説明し同意を得ています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>代表者が契約時に時間をかけて説明し同意を得ています。</p>	<p>利用者が重度化した場合の対応指針や同意書を作成するとともに、家族等の同意を得ている。</p> <p>早い段階から利用者や家族等と話し合い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、体調の変化が見られる場合は関係者と共に協議しながら支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>バイタルチェックやショック対応姿勢など初期の症状の変化ができるようにしています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急連絡網を利用して全職員が連絡できるようになっており、隣接の特養ホームや系列病院と連携をとるようにしています。</p>	<p>消防署の協力を得ながら年2回避難及び防火訓練を実施している。</p> <p>前回の外部評価結果を受けて、夜間を想定した避難訓練を行うとともに近隣住民の参加を得ているが、災害時の対応マニュアルを作成するまでには至っていない。</p> <p>緊急連絡網を掲示をするとともに、災害の発生に備えて食糧や飲料水などを備蓄している。</p>	<p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるために、災害時の対応マニュアルを作成することを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室への入退室やリビングにて過ごされているときなど声かけをして、本人の都合を伺うようにしてからこりらの用件を伝えたり、意向を伺うようにしています。	職員はトイレ誘導時には目立たずさりげない言葉かけや対応をするなど、利用者の尊厳を損ねない支援に努めるとともに、居室に入ったところにカーテンを掛け、プライバシーの確保に配慮している。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管するなど取り扱いには十分注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の症状や意向に「おうじて、十分に時間をかけて取り組むようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意向にそえるように取り組むようにしたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服や靴下など本人に選んでもらったり家族の協力にてパーマを「かけら利しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の体調等にもよりますが、下善や食器洗いなどに取り組まれる方もいます。	職員は利用者と一緒に会話をしながら楽しく食事ができるよう支援するとともに、献立は利用者の希望を取り入れてユニット毎に作っている。 オープンキッチンのため、食事づくりの様子を見たり、料理の匂いを感じることができる。 利用者は食事の配膳や下膳、テーブル拭きなど一人ひとりの能力に合わせて手伝っている。 食事が楽しめるよう、月に一度、地元の店に外出に出かけられるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を活用して、より良い食生活が送れる様に取り組んでいます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	生活習慣や症状に応じて、その人に合った口腔ケアに取り組んでいます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を利用しながら職員の都合にならないようにその人に合った排泄誘導や介助にあたっています。	職員は利用者全員に対してなるべくおむつを使用せずにトイレで排泄ができるよう、排泄チェック表により一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子や時間を見ながら声をかけ誘導している。 緑内障の利用者がトイレで自立した排泄ができるよう工夫するなど、排泄の自立に向けた支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分に水分を摂ってもらえるように時間をかけて飲んでもらえるようにしています。また野菜を多く摂ってもらうようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	午前と午後にかけて、入浴の準備をしてなるべく希望にそえるようにしています。	入浴は午前と午後に行い、利用者の希望により毎日入浴できるよう支援している。 手すりやシャワーチェアを備えるとともに、機械浴などにより利用者が安心して入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後に昼寝をされる方がいるので程よく休まれています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	多くの入居者が医師の指示通りに薬を飲まれています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	症状や体調に応じて各自がテーブルを拭いたり下善したりしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月の行事などや買い物などで出かけるようにしています。	利用者は買い物に行く職員に同行したり、天気の良い日には散歩に出かけるなど日常的に外出している。 職員は月に1回、利用者が外食できるよう支援しているほか、利用者の希望を受けていちご狩りやぶどう狩りなど、季節毎の行事を計画し、外出する機会を多く設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理されている入居者が買い物や病院受診などで本人の財布から支払ったりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人で金銭を管理されている方が電話を掛けたりしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員が時々見廻りして、障害になりそうな物をよけたり、掃除したりしています。	共用空間は光や温度の調節をするとともに、季節毎の飾り付けを行い、季節感を味わえるよう配慮している。 ユニット1丁目の居間にある畳の部屋には、大型のテレビやビデオ、カラオケの設備があり、他のユニットの利用者と一緒に楽しめるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの和室や玄関のソファ、他のユニットに行ったりして過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人のなじみの品や絵を貼ったりするなどしています。	職員は利用者と相談しながら居室の模様替えを行い、居心地よく過ごせるよう支援しているほか、利用者の手作りの作品や写真を飾ったり、テレビやラジオカセット、鏡台などを置き、その人らしく自立して過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に過ごせるように配慮されています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの ○ 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと ○ 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業者名 グループホームすずらの里

作成日 平成23年3月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	定期的な開催や毎回の市担当者の参加に至っていない	定期的な開催と毎回の市担当者の参加を得られる	定期的に開催し市担当者にも参加してもらえる	2ヶ月
2	4	運営推進会議の選出や開催場所をなどのアドバイスを受けているが協力関係を築くまでには至ってはいない	市担当者の意見をもらえるように協力関係を築くことができる	管理者が市担当者に意見をもらえるように取り組みを図る	2ヶ月
3	6	利用者や家族等から出た意見や要望が記録して全職員で共有するまでには至っていない	意見、要望を記録し全職員で共有するまでには至ってはいない	玄関の目に付くところにご意見箱を設置し、意見、要望を入れて頂けるようにしていきます、定期的に関いて検討していきます	1ヶ月
4	10	介護計画が現状に即するように見直しているが全職員で共有するまでには至ってはいない	介護計画が共有することができる	各個人のファイルにはみんなで全職員が見やすいようにしておきます、月1回のミーティング時にモニタリングを兼ねて職員間のサービスの状況や利用者の変化を見極めて改善に努めていきます	2ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。